



2017年8月3日

各位

会社名 味の素株式会社  
代表者名 取締役社長 西井 孝明  
(コード：2802、東証第一部)  
問合せ先 味の素アニマル・ニュートリション・  
グループ株式会社  
常務取締役 事業戦略部長 松川 剛  
電話番号 03-3561-1889

中国・梅花生物科技集団との飼料用アミノ酸  
製造委託契約締結に関するお知らせ

当社の子会社である味の素アニマル・ニュートリション・グループ株式会社（以下、AANG社）は、アミノ酸関連製品の中国大手メーカーである梅花生物科技集団股份有限公司（以下、梅花社）と、飼料用リジン及びスレオニンの製造委託について合意し、契約を締結しました。これにより当社は2018年度以降、梅花社が製造する両製品を当社ブランドでグローバル市場向けに販売する予定です。梅花社は飼料用アミノ酸の製造委託先としては2社目となり、今回の契約締結により、当社は動物栄養事業の基盤である飼料用アミノ酸のグローバル供給体制の再構築を推進します。

グローバル全体の食肉消費はプラス成長を維持しており、飼料生産および飼料用アミノ酸の需要は今後も堅調に推移すると見込まれます。こうした環境の下、当社は市場と顧客の多様化するニーズに応えるべく、グローバル市場における飼料用アミノ酸の安定供給とお客様視点のソリューション提供力の向上を図ります。

当社は、2017-2019中期経営計画において、アミノサイエンス事業におけるスペシャリティの確立による事業ポートフォリオ強化を掲げており、動物栄養事業においては外部リソースの活用を含む構造改革を推進し、スペシャリティへの転換を加速します。本件はそれに備えた着実なステップとなるものです。味の素グループは、アミノ酸のグローバル・リーディング・カンパニーとして、今後も独自技術とグローバル市場での顧客基盤に立脚した動物栄養事業の展開を通じて、持続可能な食資源の生産に貢献します。

1. 梅花社の概要

(1) 英 文 名 称	Meihua Holdings Group Co., Ltd. (上海証券取引所上場 証券コード 600873)
(2) 所 在 地	中華人民共和国河北省廊坊市 経済技術開発区
(3) 代表者の役職・氏名	董事長 王愛軍
(4) 事 業 内 容	各種アミノ酸・調味料等の製造・販売
(5) 資 本 金	3,108,226 千人民元 (50,912 百万円) ※1
(6) 設 立 年	2002年
(7) 大株主及び持株比率 (2016年12月時点)	・孟慶山 27.48% ・胡継軍 7.99% ・楊維永 2.54%

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・王愛軍 2.29%</li> <li>・中国証券金融股份有限公司 1.73%</li> <li>・梁宇博 1.73%</li> <li>・香港鼎暉生物科技有限公司 1.29%</li> <li>・創金合信基金－浦發銀行－創金合信新活力1号分級型 資産管理計画 0.93%</li> <li>・廖方紅 0.80%</li> <li>・何君 0.75%</li> </ul>			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	該当事項はありません。		
	取引関係	同社の製品を当社のグループ会社が購入しております。		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(9) 最近3年間の経営成績及び財政状態(単位:千人民元) ※1、※2				
	決算期	2014年12月期	2015年12月期	2016年12月期
資 本 合 計		8,382,016	8,559,509	9,296,827
資 産 合 計		20,601,673	18,169,496	16,983,012
営 業 収 入		9,864,967	11,853,174	11,092,771
営 業 利 益		434,591	424,972	1,066,434
親会社株主に帰属する 当期純利益		500,265	425,456	1,041,689

※1 1人民元=16.38円(2017年7月31日レート)

※2 中国会計基準に基づく連結ベース

## 2. AANG社の概要

(1) 名 称	味の素アニマル・ニュートリション・グループ株式会社
(2) 所 在 地	東京都中央区京橋二丁目14番1号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 鈴見満喜
(4) 事 業 内 容	動物栄養事業に係る事業持株会社
(5) 資 本 金	1,334百万円
(6) 設 立 年 月	2011年9月
(7) 大株主及び持株比率	味の素㈱ 100%

## 3. 日程

2017年8月3日 AANG社における経営会議決議 及び契約締結  
2018年度以降 製造委託品の供給開始(予定)

## 4. 業績への影響

現時点において本業務提携が当社の当期連結業績に与える影響は軽微です。

以 上